

2013年4月18日

第666回 本委員会の主要議題と概要

日本化学繊維協会

日本化学繊維協会（会長 坂元 龍三 東洋紡株式会社 代表取締役社長）は、本日 11 時より第 666 回 本委員会を開催しました。

主要議題およびその概要は以下の通りです。

1. 「WEB 展併催・先端繊維素材シンポジウム開催報告」について

「日本化繊産業の先進性と先端繊維素材の未来社会への貢献」をテーマにした新たな発信事業として実施した、「先端繊維素材シンポジウム」と「先端繊維素材展示会（WEB 展）」の開催結果について報告がありました。

概要は以下の通りです。

- ▶ シンポジウムは、2月19日（火）に日経ホールで開催しました。先端繊維素材に関心をお持ちの方々、約600名に参加いただき、会場が満席となったことなど、大変盛況でした。
- ▶ また、来場者アンケートの結果等から、先端繊維素材への関心は予想以上に高いことがわかり、手ごたえを感じることができました。
- ▶ WEB 展では、化繊メーカー10社及び関係団体が参加して、合計約130点余りの先端繊維素材・関連技術を1月21日から3月31日までの70日間にわたって、インターネット上の特設サイトで展示しました。
- ▶ 延べ約6万5千人の来場があり、閲覧ページ数は当初見込んでいた3万ページを大きく上回る約16万ページに達しました。
- ▶ 電気・電子機器関係をはじめ、異業種産業の技術担当の方々に多数来場いただくことができ、潜在顧客層への情報発信という当初の狙いは、ある程度達成できたものと考えています。
- ▶ 第2回の開催など今後の進め方については、実行委員会において、引き続き、アンケート結果や各種データに基づく今回イベント（WEB 展、シンポジウム）の評価を行い、方向付けすることとしています。

2. 日仏繊維協力 WG について

「日仏繊維協力 WG」について、3 月末に開催された第 1 回ミーティングの状況などが報告されました。

概要は以下の通りです。

- ▶ 日仏間の産業協力を深めるため、日仏政府が主催する「日仏産業協力委員会」が昨年 12 月 7 日に開催され、繊維、ロボット、スマートコミュニティの 3 分野でセクター別 WG を設置することが合意された。
- ▶ 繊維分野では、フランスから「テクニカル・テキスタイル」での交流の希望があり、経済産業省から化繊協会に対し、新たに設置される「日仏繊維協力 WG」への協力要請があり、3 月 29 日に第 1 回 WG が開催された。
- ▶ 当協会からは坂元会長等が出席し、仏側代表者と意見交換を行い、今後協力の内容を深めることで合意した。

3. 第 9 回アジア化繊産業会議について

本年 5 月 16 日～17 日に、タイ・バンコクのプラザアテネバンコクホテルにて開催予定の「第 9 回アジア化繊産業会議」について、実施計画が報告されました。

概要は以下の通りです。

- ▶ 第 9 回アジア化繊産業会議は、タイ化繊協会（TMFA）の主催により、5 月 16 日～17 日、タイ・バンコクのプラザアテネバンコクホテルにて開催される。
- ▶ 日本からは坂元化繊協会会長、安江副会長、上田副会長をはじめ約 30 名が出席予定であり、9 カ国・地域（日本、中国、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、パキスタン、チャイニーズ・タイペイ、タイ）からは約 150 名以上が参加する見通し。
- ▶ 日本からは、坂元会長が、中長期の化繊の需給見通しに関する特別テーマ報告を行うほか、技術開発・用途開拓、環境問題、合繊原料問題、通商問題などアジアの化繊産業の直面する問題について、特別テーマ報告、意見交換が行われる予定。

※詳しい内容をお知りになりたい場合はご連絡ください。

担当：日本化学繊維協会 技術グループ（03-3241-2312）

以上